

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和2年4月22日発行

令和2年度を迎えて

校 長 齋 藤 光 夫

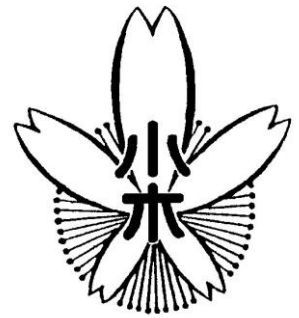
4月6日、少し緊張しながらもすがすがしい笑顔で入場し、元気な返事で呼名に応じてくれた新1年生11名が加わり、全校児童97名の令和2年度が始まりました。

教育活動が再開されたとはいえ、3つの密（密閉・密集・密接）を避けるなどの多くの制限はありました。それでも、子どもたちと共に新学期がスタートできたことをうれしく思っていた矢先の緊急事態宣言でした。25日から再び休業（5/6まで）となりますが、子どもたちの安全・安心を最優先に、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、小木小学校の校章には、次のような願いが込められています。

「諏訪ヶ平」に校舎を建てた当初、教育環境を美しいものにしようと、職員をはじめ子どもたちがこぞって桜の木を植えた。そして、その丘を「桜ヶ丘」と呼んだ。

校章は、その桜の花をかたどったものである。花びらの大・中・小は、それぞれ高・中・低学年の子どもを意味し、一致協力して勉学に励み、小木校の名をより輝かしいものにするようにと、中心部に「小木」の二字を配して、昭和2年に制定したものである。



登校班長が下学年の遅れを気にしながら歩く速さを調整して登校する、清掃の時には上学年が下学年にやさしく教える、互いに寄り添い関わり合う姿は、実に輝いて見えます。

今年度の小木小学校の教育目標は、「なかよく かしこく たくましい子」です。

この目標は平成23年度から受け継がれ、今年が10年目となります。この間、目標の具現（実際となって現れること）に向け、保護者や地域の皆様のご温かく深いご理解と、多大なるご協力を得て、小木小学校は歩んできました。今年度も、目指す学校像に、「互いに寄り添い、関わり合う中で、よさや輝きを感じ、分かり合える学校～大切にされていると実感し、安心できる居場所～」を掲げて、教職員一同、チーム力を生かして頑張ります。